

せんだいし く
仙台市で暮らす

しょうがい かつ けいかく
障害のある方のための計画

けいかく たいせつ
計画の大切なところを

せつめい ばん
わかりやすく説明する版

へいせい ねん がつ
平成30年3月

せんだいし
仙台市

この本^{ほん}について

- この本^{ほん}では 仙台市^{せんだいし}が 新^{あた}しくつくった
仙台市障^{せんだいし}害^{しょうがい}者^{しゃ}保^ほ健^{けん}福^ふ祉^し計^{けい}画^{かく}などの
大^{たい}切^{せつ}なところを わかりやすく 紹^{しょう}介^{かい}しています。

なぜこの計^{けい}画^{かく}をつくるのか？

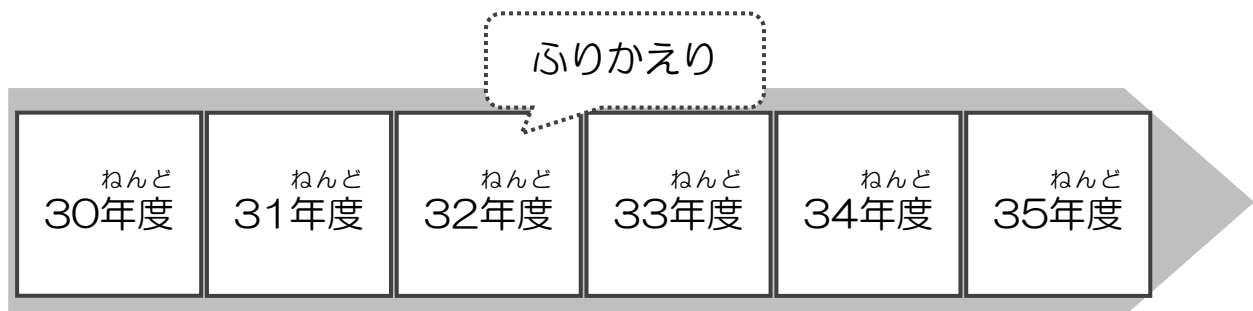
- 仙台市^{せんだいし}で暮^くらす 障^{しょう}害^{がい}のある人^{ひと}たちが
ひとりひとりの 障^{しょう}害^{がい}にあわせて
暮^くらしやすいと思^{おも}えるように この計^{けい}画^{かく}をつくっています。

だれのためにこの計^{けい}画^{かく}をつくるのか？

- この計^{けい}画^{かく}は 仙台市^{せんだいし}で暮^くらす 障^{しょう}害^{がい}のある人^{ひと}や
障^{しょう}害^{がい}のある子^こどものために つくっています。
- 障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}手^て帳^{ちょう}を 持^もっていない人^{ひと}でも
困^{こま}っている人^{ひと}がいれば 手^て助^すけしていきます。

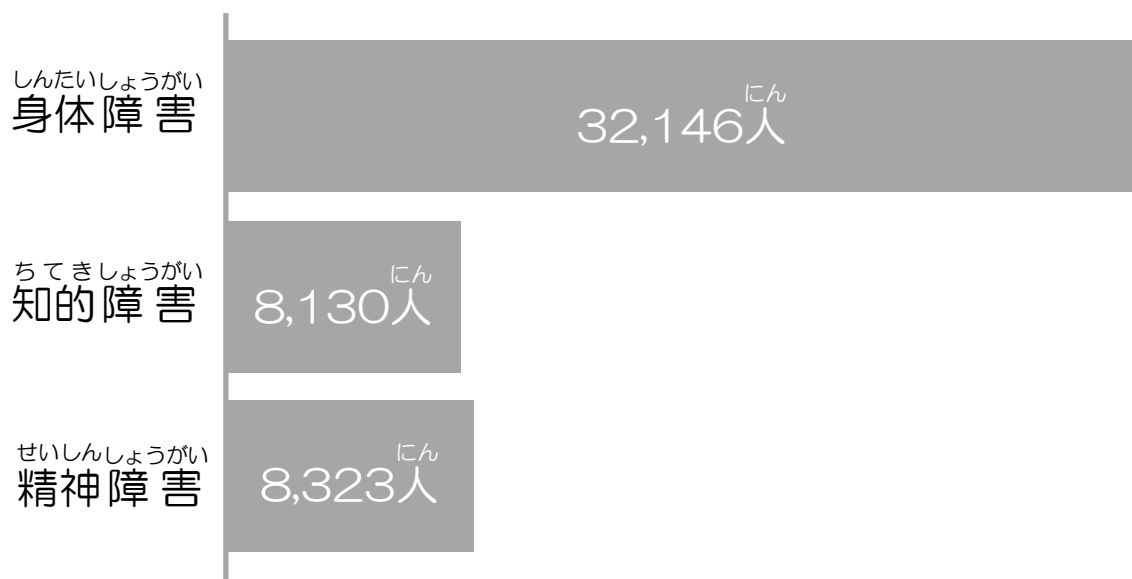
いつまでこの計画に取り組むのか？

- 平成30年度から平成35年度までの6年間
取り組んでいきます。
- 計画ができて3年目の平成32年度に何ができて
何ができなかったかふりかえりを行います。



仙台市には障害のある方はどのくらいいるのか？

◆ 障害者手帳を持っている人数（平成28年度）



仙台市はどんなまちを目指しているのか？

しょうがい ひと しょうがい ひと
障害のある人にとっても 障害のない人にとっても
ともに暮らしやすいまち

- へいせい ねん しょうがい ひと けんり まも
平成19年に 障害のある人の 権利を守るために
しょうがいしゃ けんり かん じょうやく せかいじゅう き
「障害者の権利に関する条約」が 世界中で 決められました。
にほん まも と く はじ
日本でも それを守るために 取り組みを始めています。
- へいせい ねん せんだいし しょうがい ひと さべつ
平成28年に 仙台市では 障害のある人への差別を
きんし じょうれい
禁止する 条例をつくりました。
せんだいし しょうがい しょうがい
仙台市は 障害のある人も 障害のない人も
いっしょになって 暮らしやすいとおもえるような
まちを めざ 目指しています。
- せんだいし もくひょう
仙台市は これまでもずっと この目標を持っていましたが
これからもたいせつ たいせつ かんが
これからも大切にしていきたいと 考えています。

暮らしやすくなるために大切なことは何か？

- ① 他ほかの人ひとの考かんがえ方かたを 大たい切せつにすること
- ② 困こまっているときは おたがいに助たすけあうこと
- ③ 自じ分ぶんらしく 生いきていけること
- ④ 暮くらしやすいまちを みんなでいっしょに
つくっていくこと

- 仙せん台だい市しには 自じ分ぶんの知しらない 障しょう害がいのある人ひとや
自じ分ぶんと考かんがえ方かたが 違ちがう人ひとも たくさん暮くらしています。
- 他ほかの人ひとの考かんがえ方かたを 大たい切せつにすることや
困こまっているときに おたがいに助たすけあうことは
とてだいも大だい事じなことです。
- 仕し事ごとをしたり スポすーぽーつなどの趣しゅ味みを楽たのしんだり
自じ分ぶんらしく暮くらすことも とてだいも大だい切せつです。
- 仙せん台だい市しでは みんなが気き持もちよく 暮くらせるまちを
みんなでつくっていくことを 目めざざしています。

どんなことに^とり^く組んでいくのか？

① ^{しょうがい}障害のことをみんなに^し知ってもらおうこと

- ❖ ^{せんだい}仙台で暮らす^く人^{ひと}たちに ^{しょうがい}障害のことを
もっと^し知ってもらいます。
- ❖ どんな^{しょうがい}障害があっても^わ分かるように
いろいろな^しお知らせを していきます。
- ❖ ^{じぶん}自分の生活を ^{じぶん}自分で^き決められるようにする
^{けんり}権利を守ります。

② ^{しょうがい}障害のある^こ子どもの^{せいかつ}生活を^{てつだ}手伝えること

- ❖ ^{しょうがい}障害のある^こ子どものことで ^{かあ}お母さんや^{とう}お父さんが
^{なや}悩んだときに ^{そうだん}相談できるようにします。
- ❖ ^{しょうがい}障害があって ^{せいかつ}生活することが^{たいへん}大変な
^こ子どもの生活を ^{てつだ}お手伝いします。

③ ちいき く 地域で暮らすことができるように手伝うこと てつだ

- ❖ いろいろなしょうがい 障害があっても じぶん す 自分が住みたい地域で ちいき 暮らしできるように ひとりひとりのしょうがい 障害にあわせて せいかつ てつだ 生活のお手伝いをします。

④ しごと 仕事やいろいろな活動のチャンスをつくること かつどう ちゃんす

- ❖ みんなが はたら 働きたいところで はたら 働けるように べんきょう 勉強できるようにしたり お手伝いしたりします。 てつだ
- ❖ すぽーつ おんがく かいが しゅみ などの活動が かつどう もっと楽しめるようにしていきます。 たの

⑤ あんしん 安心して生活できるように施設などをつくること せいかつ しせつ

- ❖ しょうがい 障害があって せいかつ 生活することがたいへん ひと 大変な人たちが まいにちかよ 毎日通うことができる しせつ 施設をつくっていきます。
- ❖ じしん 地震などのさいがい 災害があっても しんぱい 心配しないように ひなん 避難する場所の じゅんび 準備をしています。

どのように取り組んでいくのか？

- この計画は 障害のある人や 地域のみなさんたちと協力して 取り組んでいきます。
- 仙台市のホームページや 点字版・音声版などをつかってこの計画を 仙台市の人たちに お知らせしていきます。
- 仙台市障害者施策推進協議会で 話しあったり障害のある人たちの意見を 聞いたりしながら計画がどのくらい進んでいるか 確認していきます。

平成30年3月

編集・発行／仙台市健康福祉局障害福祉部障害企画課

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話番号 022-214-8163

FAX 022-223-3573

E-mail fuk005330@city.sendai.jp